

## 中央大学高等学校

### ■ 修学旅行 ～アメリカ・ハワイへ～

今年の修学旅行は(現3年生)、3月3日(火)～8日(日)までアメリカ・ハワイに行ってきました。本校では、修学旅行の行き先については学年生徒全員の投票によって決定します。生徒たちのなかから修学旅行委員が組織され、複数の候補地のプレゼンテーションを行い、ハワイに決定しました。その後は、ハワイの歴史・文化などを事前に学習し、修学旅行への意識を高めていきました。実際の修学旅行では、ダイヤモンドヘッド登頂やパールハーバー、戦艦ミズーリ博物館を訪れての平和学習、プリンガムヤング大学ハワイ校の学生との英語での文化交流、班別自主行動など多彩なプログラムを過ごし、各自それぞれのよき思い出とともに3月8日に無事、帰路につきました。

### ■ 新入生歓迎球技大会

生徒会主催による2015年度新入生歓迎球技大会を4月28日(火)に行いました。種目は男子がソフトボール、バスケットボール、フットサル、女子がバスケットボール、キックベース、ドッジボールです。全員が全力を尽くし、とくに新入生はクラスの枠を超えた友人関係を築くことを目的としています。チームは男女別で、各学年2クラスの合同チームが編成されます。

新入生歓迎と言っても、そこは球技大会。競技が始まればみんなが全力です。新入生にとっては手荒い歓迎もあったかもしれませんが、3年A D合同チームが最上級生の意地を見せ、総合優勝に輝きました。



修学旅行先は生徒の投票でハワイに



真剣勝負で新入生を歓迎

## 中央大学杉並高等学校

### ■ 東北ボランティア研修

3月12日(木)～14日(土)にかけて、2、3年生計37人で、東日本大震災被災地での東北ボランティア研修を行いました。三陸鉄道南リアス線の震災学習列車や釜石市の宝来館、気仙沼向洋高校の被災校舎などを巡り、陸前高田では荒れ果てた畑を元に戻す作業を行いました。この畑は、直接地震や津波の影響を受けなかったのですが、人手が入らなくなったため、作物を育てられなくなっており、現地に行かなくては分からない被害の大きさに、生徒は呆然としていました。気仙沼大島の仮設住宅では、炊き出しを行い、現地の方々と交流会を開きました。生徒の一人は「今まで単なる出来事としてしか捉えられなかった震災が、自分の中で色付き、動き始めた実感があった」と述べています。本校としても震災の復興に、これからも関わっていきたくと考えています。

### ■ PBL 研究発表会

3月14日(土)、国際協力入門タイ研修の報告会と、2014年度卒業論文発表会が、PBL 研究発表会として実施されました。PBL (Project Based Learning) とは、答えのない問題に取り組む課題解決型学習のことで、この研究発表会には、日本全国から多くの参加者が来場されました。国際協力入門タイ研修は、国際協力機構(JICA)や本学国際センターなどと連携しつつ、一学期はタイ大使館次席公使を招聘してタイの現状を学び、夏休みには現地へ行ってJICAのプロジェクトを視察、交通問題の解決策等を模索しました。その最後の仕上げがこの報告会です。卒業論文についても、「民法における危険負担制度」や「知床国立公園オオカミ再導入の可能性」などの発表が行われ、高校生とは思えない内容に、会場からは賛嘆の声が相次ぎました。どちらも PBL の実践例として高い評価を得ることができたようです。



陸前高田でのボランティア活動



タイ研修の報告をする生徒

## 中央大学附属中学校・高等学校

シドニーにあるトブрук牧場にて



バリ島・パロンダンス鑑賞後の舞台上にて



### ■ オーストラリア交流プログラム

春休みの10日間(3月18日～27日)の日程で、中学3年生の希望者26名が、第3回オーストラリア国際交流プログラムに参加しました。アデレード市にある交流校スコッチカレッジ・アデレード校を訪れ、ホームステイ(3泊)をしながら生徒どうしの交流を深めることができました。シドニー滞在中は、ブルーマウンテンズ国立公園で壮大な景観を満喫し、アボリジニ文化施設や牧場では、体験学習を行い、オーストラリアの文化・自然・歴史についての見識を深めることができました。4月には日本語を学んでいるスコッチカレッジの生徒11名が来日し、本校にも訪問しました。今後このプログラム発展の可能性を大いに実感できた研修となりました。

### ■ 高校生研究旅行

春休み期間に、マレーシアのランカウィ島第1陣(28名、3/25～29)、第2陣(24名、3/28～4/1)、インドネシアのバリ島第1陣(22名、3/23～28)の研究旅行を実施しました。ランカウィ島では、熱帯多雨林での野生動物(サイチョウ、ヒヨケザル、モモンガなど)や離島での熱帯サンゴ礁の観察、マングローブカヤックツアーなど、自然環境問題がテーマでした。バリ島では、ケチャダンス、パロンダンス観賞やテガラランの棚田見学、イスラーム教モスク訪問、チャナンの製作体験など、異文化体験がテーマでした。今年度はさらに、カンボジアコース、ブルネイコース、バリ島第2陣を実施予定です。こうした体験が、生徒一人ひとりの視野の拡大につながることを願っています。

## 中央大学附属横浜中学校・高等学校

移動動物園が学校に



ホテルにてテーブルマナー講習



### ■ 中2オーストラリア研修

3月21日(土)～29日(日)、オーストラリアにて、中学2年生の希望者31名を対象とした研修が行われました。生徒たちはメルボルン市内の3つの学校に分かれ授業を受け、現地の家庭でホームステイを体験しました。学校では、英語の授業だけではなく、オーストラリアの地理や固有の動物、先住民について学んだほかに、ホストシスターやブラザーが受けている授業を実際に体験し、日本とオーストラリアの学校の授業スタイルとの違いに驚いている生徒もいました。また、一緒にスポーツをしたり、スーパーに買い物に行く等、ホストファミリーと過ごすことによってオーストラリアの日常生活を体験することもできました。短い日程ではありましたが、生徒たちが積極的に現地の生徒とコミュニケーションをとろうとする姿に成長を感じられる研修でした。

### ■ オリエンテーション合宿

4月23日(木)～24日(金)、中学1年生と高校1年生の生徒がそれぞれオリエンテーション合宿を行いました。中学1年生は、遊びから仲間への信頼感や自己肯定感を学ぶアドベンチャープログラムや、携帯電話やスマートフォンの便利さの裏に潜む危険性を学ぶICTセミナーを受講しました。高校1年生は、ホテルでのテーブルマナー講習や、国際理解教育の一環として留学生とのアクティビティを行いました。また、事前に各クラスの委員(生徒)が中心となって準備したレクリエーションを実施し、クラスの枠を越えて親睦を深めました。とくに、自己紹介形式のゲームで生徒たちが楽しそうに話をしている姿が印象的でした。